

大村市議会議員

# 北村タカトシ

活動報告書 第1号



2 北村 貴寿

討議資料

ちちむら  
維新  
OMURA Innovation!

# 議会活動

平成23年6月～24年3月、全4回の定例議会が開催されました。  
全ての議会に登壇させて頂き、行政を質しました。  
その内容をお知らせします。

## 23年6月議会 一般質問

### 市民を交えた市長マニフェストの評価・検証システムの構築について。

市長マニフェストの評価・検証が必要。これまで民間団体が独自に開催してきたが継続性などが担保できない。

現在の評価制度は内部評価にとどまっている。

行政が責任をもって評価・検証体制を構築するべき。

回答→導入を検討する。

★24年度より外部議者および公募委員による行政評価制度が実現しました！★

### 市営住宅「本町アパート（仮称）」整備見直し、民間住宅の借り上げ公営住宅化について。

税金で住宅を整備する時代は終わった。また、市内には1000を超える空家、空き部屋がある。新しい市営住宅の建設は民間経済を圧迫する。

本町アパートの整備は白紙撤回し、民間住宅を公営住宅として借り上げてはどうか。

回答→本町アパート建設は中心市街地活性の一助にもなるので実施する。

民間住宅の活用についてはモデル的に実施する方向で検討する。

（新聞報道がなされました）

松本崇大村市長は14日  
市議会一般質問で、大村  
市内の既存民間住宅を活  
用し、借り上げて市営住宅を活  
用するモデル事業に取り組  
む。との方針を明らかにし  
た。同市は、親和銀行大村支  
店跡地（同市本町）に、老  
朽化している市内各地の

市営住宅を集約した複合  
型都市福利施設を建設す  
る計画を進めている。高齢  
者向けの住戸を中心とした  
市営住宅「本町アパート」  
（仮称）を同施設内に設け  
る。北村貴寿議員（おおむら  
未来の会）が「本町アパー  
トは民衆の圧迫につなが

る。借り上げの市営住宅を  
検討すべき」と質問した。  
松本市長は、「本町アバ  
ートは、町なかへの居住を  
促進、老朽化した市営住宅  
をスクラップ・アンド・ビ  
ルドし、売却する狙いがあ  
り上げ住宅はモデル的にや  
り上げよい。全国的に採用例  
もある。やる方向で検討し  
たい」との意向を示した。

### 借り上げ住宅検討市

### 中小企業振興基本条例の制定プロジェクトを立ち上げるべき。

地域の経済活性化は、中小企業の活性化なくしてありえない。中小企業、市民、行政の役割を明示し、地域経済の活性化を目指す根拠となる条例が必要。障がい者雇用に向けてのノーマライゼーションの理念や若手の起業家を育てる内容にすべき。

回答→商工会議所と共に連携を取りながら制定へ向け着手する。

★中小企業家同友会大村支部より講師を招聘し全議員向けの勉強会が開催、商工会議所と連携した制定プロジェクトが進行中です！★

## 23年9月議会 一般質問

### 福祉避難所の設置について。

おおむら災害助けあいプランには福祉避難所の設置が明示されている。

福祉避難所とは高齢者・障がい者等、一般的の避難所では生活が難しい方々の避難所であり、長崎市は既に73ヶ所設置されている。大村市の現状はどうか。

回答→現時点では設置していない。今月中に意見交換会を開催し具体的な検討を進めていく。

### 公共施設バリアフリー化の進捗状況について。

現在計画中のバリアフリー化は、実際に障がい者が使ってみて使いやすいかどうか、という検証をした上で進める事が必要だ。

回答→現在の調査の上に立って24年度に予算化し進める。障がい者の立場に立った対応を十分にしていきたい。

## 災害時の民間団体、企業の協働、防災教育の推進について。

災害発生時の緊急物資の確保等、市内の事業者・団体との協定締結状況はどうなっているか。  
また、災害ボランティアセンター設置・防災教育の推進についての進捗状況はどうか。

回答→地方公共団体や近隣市町、国の関係機関と協力体制を構築している。民間団体は2団体、FMおおむら、2事業者と締結している。ボランティア団体との災害を想定した打ち合わせまでは至っていない。  
防災教育については自主防災組織の研修会を1年に1回開催している。今後も積極的に推進を図っていく。

## 被災地派遣職員の知見の活用、災害時の携帯電話の活用について。

被災地に派遣した職員が会得した知見の活用はどうなっているか。災害時はパソコンが機能しないことも想定される。携帯用ホームページの活用やツイッター・フェイスブックを活用するべきだ。  
既に広がっている情報インフラを活用すれば費用もかからないし、実際に救命につながった事例もある。

回答→被災地へは合計59名を派遣した。報告会を開催する等、防災行政の在り方について活用していく。  
携帯ホームページについては24年度中に改定したい。  
ツイッターの活用については慎重にリスクと効果を検討する。

## 公園利用者のマナーアップについて。

森園公園は大村の顔ともいえる場所に位置する公園であるが、注意看板や注意放送が行われている。これは公園の価値を下げているのではないか。そして看板や放送の効力が高いとは思えない。福岡市の前例を参考にする等、市民のマナー意識の向上に取り組む必要がある。

回答→今後研究していきたい。

## 市立図書館の整備計画について。

市長のマニフェスト、4年で行う重要政策の中に市立図書館の再整備がある。現状はどうか。  
遅れているのならばマニフェストの変更修正、市民についての説明責任を果たすべきだ。

回答→県立図書館の誘致も関係して遅れている。任期中には構想から基本計画まで立てたい。5年以内を目標にする。

## 23年12月議会 一般質問

### FIBA開催が本市もたらした波及効果と今後のコンベンション事業戦略について。

FIBA開催に1億弱の公金を投入したが、5億円と試算されていた経済効果の検証はどうなっているか。  
また、その実績を活かした更なるコンベンション誘致の為、大会開催に関する事務局支援サービス窓口の設置を提案する。

回答→経済効果については若干下回る見込み。24年度にかけてイベントやコンベンションの担当専門チームを作りたい。

### 大村市の障がい者雇用の現況と民間波及の為の支援政策について。

本市の障がい者雇用の状況はどうなっているか。障がい者雇用法定率のカウントを見なおすべきではないか。  
また、民間事業所への波及を促進するため、新潟市の優遇制度や、静岡市の奨励金等にならった支援政策を提案する。

回答→雇用総数では法定率をクリアしているが採用後に障がいを負った職員も含まれている。  
24年度採用に枠を作る。支援政策については今後研究する。

★24年度新卒採用に採用枠が作られました！★

## 病児保育を増設へ

一大村市議会  
一般質問会

3カ所体制に

定例大村市議会は7日、一般質問を実施。病児保育の対応施設について市は、現在の小児科施設(4床)体制から市南部、市北部の各地区に1カ所の計3カ所体制(12床程度)に増設する方針を明らかにした。北村貴寿議員(おおむらけいじ)が利正幸(としゆき)ことも未来部長が答えた。市によると、現在の病児保育施設は年間403人(2010年度実績)が利用(冬場のインフルエンザ流行時は利用者が集中し、不足が懸念される)という。

市は「市子ども・子育て応援プラン」の策定を踏まえ、施設充実を図ることにした。山口部長は「現在、施設は市の中地区にある。北部に1地区、南部に1地区で、各4床ずつ程度の整備を計画しております。(施設は)小児科医院を検討している」と述べた。

## データサーバーの保守管理について。

市民の財産を守る根幹となるデータ保全はどうなっているか。自治体間やデータセンターのバックアップ、クラウド化を検討すべきでは。

回答→今後検討する。

## 下水道整備更新の計画及び不明水、大口の契約企業について。

老朽化している下水道設備の更新計画や災害対策はどうなっているか。また不明水についての調査はどうなっているか。大口の契約企業に頼る財務体質には問題もあるのでは。

回答→施設については長寿命化計画を今年度策定する。耐震化は進んでいないので更新計画に合わせた補助事業を活用し進めていく。現在10%程度の不明水が発生しているので今後調査を進める。大口企業が全体の25%を占めているので企業の動向等を注視しながら運営する。

## 公共施設バリアフリー化の進捗状況について。

現況は調査を進めている最中だと思うが、今すぐできるバリアフリーがある。耳の不自由な方々の為に筆談の申し出を促す「耳マーク」を設置してはどうか。費用も僅かである。

回答→すぐに全ての窓口に設置する。

★大村市庁舎の窓口に設置されました!★



## ICT政策(ツイッターでの情報発信)について。

長崎県がツイッターの公式アカウントを取得して情報発信を始めた。大村市ではどうか。フェイスブックも合わせて検討すべき。

回答→今後検討する。

## 24年3月議会 「おおむら未来の会」会派代表質問

### 本町アパートの建設について。

税金で住宅を整備する時代は終わった。事業費の大半が国からの補助金といえども国の財政は収入の2倍の支出を行っており、借金は1000兆に達すると言われている。次世代にツケを回す片棒を担ぐのではないか。12階建てと高層であり、高齢者住宅としては防災の面でも不安がある。また、国が民間整備を対象にしたサービス付き高齢者住宅とバッティングするのではないか。

回答→これまでの議論通り、市営住宅ストック計画に沿って本町アパートは建設する

## 黒木住宅について。

コンパクトシティ化、市営住宅総量の削減、といった方針に反するのではないか。また、4戸という戸数、そして小学校通学の間のみ入居ということでは黒木地区の活性には繋がらないのではないか。活性化が目的であれば、例えば100戸という規模で自然と共生する新しいコミュニティを作り、市外県外から移住者を呼び込む、という事業が効果的なのではないか。

回答→黒木小学校存続の為の市営住宅整備である。

他の市営住宅とは目的が異なる為、独自の入居規定を条例化する。

## 中小企業振興資金金融資事業について。

様々メニューがあると思うが、起業家の支援をできないか。企業誘致は大企業ばかりではない。国内製造業は厳しい立場に置かれており、空洞化が進んでいる。資金金融資事業の条件の緩和等はできないか。小規模の起業がしやすい環境整備を進めるべきだ。起業家の背中を押すのは色々あると思うが、行政の支援体制や姿勢もあると思う。商工会議所等と一緒にになって「起業するなら大村で」という姿勢を示すべき。

回答→大村市には起業をする為の融資制度はない。長崎県の制度を紹介している。

## フレッシュワーク大村について。

サムコの再生計画では250名の雇用が失われる見込み。家族まで組めれば年間2億円の経済損失もあると伺った。

特に若年層の雇用環境の悪化は深刻になる。ハローワーク任せにせず大村市としても対応策が必要だ。連携して、雇用マッチング対策などをやってはどうか。

回答→再生計画を受けて、対策本部を立ち上げた。現在、県やハローワークと協議を進めている。  
離職者には即応できる体制を構築したい。

## 観光客受け入れ魅力アップ事業について。

県よりの予算でやる事業で雇用対策という事だが、25年度以降はどうなるのか見通しは。観光も戦略的にやらなければならぬし、県予算頼みの単発では効果も上がりにくいのではないか。中長期的な視野でコンベンション誘致戦略チームの立ち上げを市長も先の議会で明言されている。協会の事務局機能を強化する予算を市の財源で確保すべきだと思うがどうか。

回答→25年度以降は現在未定。継続する事が大事、支援できる範囲でやっていきたい。

## 歴史観光立市推進事業について。

歴史教育は力を入れなければならないと思う。しかし歴史観光だけでは難しいと考えている。見るべきもの、史跡、遺構などが少なすぎるし、目玉がない。地勢的優位を活かした観光誘客が大村市のメインになると見える。大小問わずの大会誘致、体験型観光、スポーツコンベンション、グリーンツーリズムなどとバランス良く推進すべきと思うがどうか。

回答→指摘の通り、歴史観光だけでは難しい。体験型観光や産業観光等も視野に入れ総合力でやっていく。



議事録全文は、大村市議会のホームページにて。  
また、質疑の全映像もご覧いただけます。

# その他の活動



ボランティアセンターにて

## 東日本大震災への支援活動

23年3月11日、東日本大震災発生の3日後から(社)大村青年会議所の仲間達と共に街頭募金活動を開始しました。また、被災地からのお茶購入運動を発信、7月には(公社)日本青年会議所長崎ブロック協議会の仲間達と共に、現地視察、個人宅の清掃ボランティアに参加、宮城県亘理郡山元町の老夫婦のお宅でガレキやヘドロの撤去に汗を流しました。

## 23年6月、今年も長崎ピースラリーを開催

2000年から続けてきたバイカーズキャンプミーティングです。本年は震災復興任務に従事した自衛官の体験談、白血病になったアスリートから骨髓バンクへの協力を発信して頂きました。復興支援Tシャツの販売を行い、10万円を被災地の子ども達に送りました。



ピースラリーにて



市政報告会にて

## 8月1・2・3日はおおむら夏越まつり

実行委員会スタッフは15年目、今年は設営担当者として汗を流しました。

## 23年10月 初の市政報告会を開催

延べ70名の皆さんにご参加頂きました。  
ありがとうございました。

## 政治的ライフワーク、公開討論会の推進

- 24年2月 熊本県知事選挙におけるローカル・マニフェスト型公開討論会でコーディネーターを務めました。
- 24年4月 福岡県筑後市、市長マニフェストの中間検証でファシリテーターを務めました。
- 24年4月 長崎県長与町長選挙におけるローカル・マニフェスト型公開討論会でサブコーディネーターを務めました。



熊本県知事選挙公開討論会にて



岩手県陸前高田市にて

(報告書はホームページ、または議会事務局でも常時ご覧頂けます)

## 全国各地へ行政視察に赴きました

- ・関西学院大学 「地方財政の基礎、岐阜県多治見市の事例、  
公共会計の基礎、愛知県による道州制の検討」
- ・滋賀県近江八幡市 「風景づくり条例」
- ・京都府向日市 「雨水対策トンネル」
- ・滋賀県高島市 「木質バイオマスマウン構想」
- ・愛知県豊田市、三重県龜山市 「議会運営や議決事件」
- ・岩手県陸前高田市、気仙沼市 「震災復興状況」
- ・愛知県大府市 「美しいまちづくり条例」
- ・愛知県知立市 「駅周辺土地区画整理事業」
- ・秋田県由利本荘市 「学力向上の取り組み」
- ・秋田県仙北市 「テンミリオン計画(観光客一千万人)プロジェクト、定住対策政策」



山のぼり

### ~政治資金・献金のお願い~

私の政治理念、信条にご賛同頂けます皆様のご净財をお寄せ  
頂ければ幸いです。

賜りましたご寄付は大切に政治資金として活用させて頂きます。

- ・個人の方からのみ受け付けております。
- ・毎年政治資金収支をホームページにて報告します。
- ・他人名義、匿名での献金は禁止されています。  
(集会等での1,000円以下を除きます)。
- ・合計金額が年間5万円以上の場合は収支報告書に名前・住所・  
金額が開示されます。
- ・献金の方法などはお問い合わせください。

### ~政治資金収支のご報告~

#### ●大村市議会議員選挙

|        |                  |
|--------|------------------|
| 収入の部   | 900,000          |
| (公費支給分 | 413,328、以外は自己資金) |
| 支出の部   | 863,124          |
| その他の公費 | 街宣車関係費 211,566   |

#### ●平成23年政治活動収支

|         |                    |
|---------|--------------------|
| 収入総額    | 667,228            |
| ・内訳 繰越金 | 17,228             |
| 寄付金     | 150,000            |
| 借入金     | 500,000            |
| 支出総額    | 432,302            |
| 借入金の総額  | 3,014,205 (全て自己資金) |

※複数名の方々より净財を賜りました。本当にありがとうございます。  
詳細は県および市選挙管理委員会、ホームページ、事務所にて。

郵便はがき

8560847

大村市西部町264-4  
北村タカトシ  
後援会事務所 行

ご意見、ご質問、ご要望、応援メッセージ等ご自由にお書きください。

ありがとうございました。

お電話・FAX・メール・ホームページでも受け付けております。

●TEL & FAX 0957-50-0733

●メール info@takatosi.net <http://takatosi.net>

北村タカトシ 検索



# 北村タカトシプロフィール

大村市議会議員 一期目 所属会派「おおむら未来の会」

建設環境委員会 議会運営委員会

地場企業振興調査特別委員会 委員

昭和48年2月6日生 水瓶座のO型

大村市武部町在住 家族：妻 理子

- ・市立三城小学校
- ・市立大村中学校
- ・県立諫早商業高校 情報処理科
- ・国立いはやコンピュータカレッジ 卒業
- ・社会福祉法人瑞鳳会 介護サービスセンターべいサイド大村 役員  
<http://zuihoukai.org>

## ○選挙歴

平成19年 大村市議会議員選挙 1,022票 落選

平成22年 大村市長選挙 3,236票 落選

**平成23年 大村市議会議員選挙 1,673票 初当選**

## ○政治運動関係

県内外で公開討論会を推進、コーディネーター等を務めています。私のライフワーク。

平成17年 郵政解散における長崎三区・衆議院議員選挙

平成18年 大村市長選挙において長崎県初のローカル・マニフェスト型公開討論会

平成20年 長崎一区・三区・四区 政権"せんたく"公開討論会

平成21年 福岡県柳川市長選挙 福岡県筑後市長選挙

平成22年 長崎県知事選挙 長崎県南島原市長選挙 長崎県参議院選挙

平成24年 熊本県知事選挙 福岡県筑後市市長マニフェスト中間検証

長崎県長与町長選挙

## 北村タカトシを応援します。

|         |              |  |
|---------|--------------|--|
| ふりがな    |              |  |
| ご氏名     |              |  |
| ご住所     | 〒856-<br>大村市 |  |
| 電話番号    |              |  |
| メールアドレス |              |  |

宜しければ大村市在住の方をご紹介ください。（ご本人の承諾をお願いします）

|           |              |      |
|-----------|--------------|------|
| お名前(ふりがな) | ご住所          | 電話番号 |
|           | 〒856-<br>大村市 |      |

## ○その他

平成12年 バイクイベント長崎ピースラリーを毎年開催  
骨髄バンクドナー登録推進運動を発信中  
<http://farwest.jp>

平成20年 北方領土へ上陸視察

平成23年 宮城県にて災害復興支援ボランティアに参加

## ○趣味：バイク・自転車・山のぼり

## ○所属団体等

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク

(社)大村青年会議所 小佐古町永寿会

中小企業家同友会 大村市社会福祉協議会

大村市自立支援協議会 大村東彼防衛協会

大村市在宅ケアセミナー 富松神社子青年会

(社)観光コンベンション協会 木場龍踊り保存会

はっぱ隊10人衆 おるびすワングル部

FARWEST LONGRIDERS

## ○最新動向はfacebookかtwitterにて！

リクエスト、フォロー待ってます！

## 北村タカトシ事務所

〒856-0847 大村市西部町264-4

TEL:0957-52-7731(ベイサイド大村内)

FAX:0957-50-0733

ホームページ <http://takatosi.net>

メール [info@takatosi.net](mailto:info@takatosi.net)

